



進級おめでとうございます。

春の足音がすぐそこに…菜の花の黄色、木蓮の花の白色、桜の花のピンク…柔らかい、色鮮やかな春の景色が波佐見の町を包み込んでいて、たいへん素敵な景色です。

桜の樹は、冬の間根本で花びらの桜色を作っているそうです。冬の厳しい寒さを経験して、美しい桜を咲かせる姿は、頑張っている生徒の姿と重なります。通級指導教室でコツコツと努力を続けた3年生の姿勢は素晴らしいもので、それぞれが進路実現を達成しました。1年後、2年後の“なりたい自分”に向かって今後も頑張ってくれることを期待しています。



自立活動とは…

自立活動は様々な目的を持って行われていますが、実際にやってみると、とても楽しいものが多く、生徒たちも喜んで取り組んでいます。下に紹介しているのは、実際に通級指導教室で行っている、自立活動の取組と目的です。

- コミュニケーション…自分の気持ちや考え、最近の出来事をことばで伝える。
会話を楽しみ、落ち着いてゆったりした気持ちにする。
- まちがいさがし…複数の絵の中から2枚の同じ絵を見つけ出すことで、
視覚情報の共通点や相違点を把握する。
- パズル…形を組み合わせることで、推論したり、認知したりする。



「個別の支援計画」について

乳幼児期から学校卒業まで長期的な視点に立って、一貫した支援を行うために、困り感のある幼児児童生徒一人一人に作成する長期的な支援計画のことです。各学校が、保護者をはじめ医療、福祉、労働等の関係機関と連携しながら作成しています。個別の教育支援計画を作成・活用することにより、関係機関で情報を共有し、一貫した指導・支援を継続して行うことができます。

個別の支援計画は、子どもを応援するための「つなぐツール」としての活用を目指しています。

- ①教員と保護者を「つなぐツール」
- ②必要な指導や支援の手立てを「つなぐツール」
- ③本人及び保護者の思いや願いを「つなぐツール」
- ④本人と関わる関係機関にとって必要な情報を「つなぐツール」

※「個別の支援計画」の作成や、高等学校への引継ぎは保護者の承諾をいただいてから、

作成・引継ぎを行っています。